

2018年7月17日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 5-1-28
www.lilly.co.jp

EL18-34

日本イーライリリーが 地域の皆様の健康寿命延伸に向けて取組むことを発表 -兵庫県、神戸市、WHO神戸センターと協働-

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:パトリック・ジョンソン、以下、日本イーライリリー)は、兵庫県、神戸市、WHO健康開発総合研究センター(以下、WHO神戸センター)と、7月13日、ひょうご・神戸地域の皆様の健康寿命延伸のために、「『人生100年時代』をイキイキと生きるために」をテーマに据えた市民公開講座(セミナーなど)を実施し、今後、協働していくことを当社の新社屋完成記念セレモニーで発表いたしました。



「人生100年時代」といわれるようになり、病気とうまく付き合いながら、健康的に生き活きと暮らすため、健康寿命の延伸が重要になってきています。この課題に向けてこの度、地域の健康事業を担う兵庫県、神戸市、世界規模での保健政策研究を行っているWHO神戸センター、研究開発型のグローバル製薬企業である日本イーライリリーの4者が協働し、それぞれの知見を生かしながら、「『人生100年時代』をイキイキと生きるために」など高齢化をテーマに、地域への情報提供と意識啓発を図る市民公開講座を開催していきます。日本イーライリリーは、本社に設立されたホールスペースを会場として提供いたします。

これまで日本イーライリリーは、「神戸医療産業都市」プロジェクトに賛同し、研究開発拠点の一つとして神戸を位置づけるとともに、神戸市、公益財団法人神戸医療産業都市推進機構と連携して認知症に関する理解促進と意識啓発に取り組んで参りました。

日本イーライリリー代表取締役社長のパトリック・ジョンソンは「私たちは研究開発型のグローバル製薬企業として、兵庫県神戸市に本社を置き、日本の研究開発型製薬産業を牽引していきたいと考えています。患者さんのより豊かな人生に貢献することを目指す私たちにとって、革新的製品を提供することにとどまらず、医療・健康に関する多様なステークホルダーの声に耳を傾け、患者さんや彼らを取り巻く環境への理解をより深めなが

ら、情報提供や患者さんへの支援など多面的な活動を通じて、地域の皆様の健康寿命の延伸に寄与することが責務だと感じています。」と述べました。

地域の皆様の健康寿命延伸のため、13日当日に開催され200名以上が参加した、「日経健康セミナー21スペシャル『人生100年時代』をイキイキと生きるために ～知っておきたい糖尿病の予防と対策法～」は、それぞれ兵庫県、神戸市は後援、WHO神戸センターは協力、日本イーライリリーは協賛として実施されました。

兵庫県の健康寿命の延伸に向けた取り組みについて

兵庫県では、県民の健康づくりを支援するため、健康づくり推進プラン(2017年3月制定)等に基づき、「生活習慣病予防等における健康づくり」、「歯及び口腔の健康づくり」、「こころの健康づくり」、「健康危機事案への対応」について、県民自ら健康づくりに取り組む県民運動と行政による施策展開、職域の分野である企業との連携による「健康ひょうご21大作戦」を推進し、健康寿命の延伸に取り組んでいます。

神戸市の健康寿命の延伸に向けた取り組みについて

神戸市では、健康増進法に基づく「神戸市健康増進計画」として、また、市民の主体的な健康づくりへの取り組みを推進するための指針として、2002年に「健康こうべ21」を策定し、市民の健康を支援しています。2013年に策定された「健康こうべ2017」は、基本理念を「市民が健康でいきいきと心豊かに暮らし続けられるまちを実現するため、健康寿命の延伸と生活の質の向上をめざす」とし、本計画に基づき、市民の主体的な健康づくりを推進する施策を行ってきました。2017年7月には、全ての市民が健康になるまち「健康創造都市KOBE」をめざして、議論・提案をおこなう場として「健康創造都市KOBE推進会議」を設立しました。神戸の医療・健康に関する社会資源を活かし、健康寿命の延伸、健康格差の縮小に向け、健康づくりに関する施策を企業や市民と共に推進しています。

WHOの健康寿命の延伸に向けた取り組みについて

WHO 健康開発総合研究センター(WHO 神戸センター)は、1995年、世界保健機関(WHO)執行理事会の決定により神戸に設立されました。WHO ジュネーブ本部直轄のグローバル・リサーチ・センターとして、持続可能なユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)実現に向けた研究を続けています。超高齢社会の日本には、人々が健康で長生きするための教訓が数多く蓄積されており、学際研究を通じて、UHCの実現に向けた持続可能でレジリエントな保健システムの構築を目指すと共に、高齢者のためのイノベーションを推進しています。2017年には日本の研究機関を対象に高齢化が進む世界のユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)推進に寄与する日本の知見を研究公募するなど、国際的な技術協力や能力開発、優れた知見やベストプラクティスの応用を促進しています。

イーライリリー・アンド・カンパニーについて

イーライリリー社は、世界中の人々の生活をより良いものにするためにケアと創薬を結び付けるヘルスケアにおける世界的なリーダーです。イーライリリー社は、1世紀以上に、真のニーズを満たす高品質の医薬品を創造することに全力を尽くした1人の男性によって設立され、今日でもすべての業務においてその使命に忠実であり続けています。世界中で、イーライリリー社の従業員は、それを必要とする人々の人生を変えるような医薬品を開発し届けるため、病気についての理解と管理を向上させるため、そして慈善活動とボランティア活動を通じて地域社会に利益を還元するために働いています。詳細はウェブサイトをご覧ください。www.lilly.com および <http://newsroom.lilly.com/social-channels>

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。<http://www.lilly.co.jp>